



医師と協働する特定行為看護師の役割と実践

看護部長 **村井 純子**

当院では、特定行為研修を修了した特定行為看護師が複数部署に配置され、医師と協働しながら急性期医療を支えています。

2025年度は、動脈血採血（ABG）約250件、Aライン挿入・抜去約200件、PICC挿入・抜去約150件、CV抜去約10件をはじめ、創傷管理、栄養・水分管理、薬剤投与など、多岐にわたる特定行為を実践しました。これらの行為は、医師の包括的指示のもと、手順書および教育体制を整備したうえで安全に実施しています。その結果、診療の迅速化や医師の業務負担軽減に寄与しています。特に集中治療室や手術部では、特定行為看護師がタイムリーに介入することで、治療開始までの時間短縮や患者状態の安定化につながっています。



また、特定行為看護師は、日常的に実績を積み重ねることで、標準化された手順と判断基準に基



づく対応が可能とな

り、院内全体の医療安全の向上にも寄与しています。医師からは「安心して任せられる存在」として評価され、チーム医療の中核として機能しています。

今後も当院では、特定看護師の育成と計画的な配置を進めるとともに、地域医療機関の皆さまと連携し、急性期から回復期・在宅医療まで切れ目のない医療提供を支えてまいります。



研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会 (ハイブリッド開催)

日時：4月14日(火) 19:00~20:00 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

『難治性皮膚疾患への最新治療と今後
～乾癬、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症などに対するbio、JAK阻害剤～』

皮膚科 大石 直人

2) ミニレクチャー

『足から全身の血管を守る』

循環器内科 高嶋 勇志

下肢閉塞性動脈疾患(LEAD)は、単なる歩行障害を来す局所的な疾患ではなく、心血管死や脳卒中の強力な予測因子である「全身性動脈硬化」の象徴的な病態である。しかし、日常生活レベルが低下した高齢者や糖尿病患者においては、間欠性跛行などの典型的な症状を呈さず、無症候性に病態が進行してしまう症例が一定数存在している。LEADは無症候性でも心血管死のリスクが有意に高く、さらに重症虚血肢(CLT1)に至れば下肢予後・生命予後が急激に悪化するた

め、プライマリーケアの現場での早期スクリーニングとリスク管理、適切なタイミングでの専門医紹介が不可欠である。

本講演の前半ではLEADの疫学、リスク因子などの全体像を概説し、後半ではプライマリーケアにおける動脈硬化リスク管理に対する薬物療法の重要性について詳述する。リスクのある患者に対して積極的に足を触り、無症候性LEADを拾い上げ、足から全身を守る診療を行うべく、プライマリーケア医の先生方と情報を共有したい。

予告 日時：5月12日(火) 19:00~20:00 (ハイブリッド開催)

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例 (担当) 緩和ケア内科
②ミニレクチャー 1題 (担当) 整形外科

2. 看護研修 ※諸事情により研修が変更になる場合があります

《新任看護職員研修》

当院では令和8年度採用の新人看護職員に対し、新人・新任看護研修を実施いたします。地域の医療機関や施設に入職される看護職員の方に関しても当院職員と共に研修を受けていただければと考え、下記の通り計画いたしました。参加をご希望される場合は、事前の申し込みが必要となりますので、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。(TEL:076-422-1112 内線2009)

【参加に関するお願い】

- ※募集は1研修につき5名程度としますので、1施設からの参加は1~2名程度とさせていただきます。
- ※院内では、マスクの着用をお願いいたします。服装は、白衣または動きやすい服装でお願いします。
- ※資料等の準備がありますので、必ず各研修開催日の1週間前までに申し込みください。
- ※体調不良時は無理をせず、欠席してください。その場合は必ずご連絡ください。
- ※受付は、各研修の開始10分前までに済ませてください。
- ※駐車場は外来患者さんが利用されますので、研修にお越しの際は公共交通機関、または第2駐車場(奥の方)をご利用ください。

技術研修の内容と日時

場所：3階講堂

No	内 容	開 催 日	時 間	研修形式
1	安全確保の技術(医療安全)	4月2日(木)	9:15~11:35	講義
2①	静脈注射研修プログラム(医療安全、薬剤、感染)	4月2日(木)	12:35~15:15	講義eラーニング
2②	静脈注射研修プログラム(皮内・皮下・静脈注射、ルート確保)	4月3日(金)	8:30~10:30	講義eラーニング
2③	静脈注射研修プログラム(ポート針、輸液ポンプの取り扱い)	4月3日(金)	10:40~11:40	講義eラーニング
3	与薬 静脈内注射 点滴静脈注射 採血	4月3日(金)	12:40~16:40	演習
4	感染防止の技術	4月8日(水)	8:30~12:10	講義・演習
5	与薬援助技術 経口薬の投与 麻薬製剤について 皮下注射 中心静脈内注射 輸血 誤薬防止の手順等	4月13日(月)	13:30~16:40	演習
6	排泄援助技術	4月14日(火)	13:30~15:00	講義・演習
7	活動・休息援助技術	4月14日(火)	15:30~17:00	講義・演習
8	医療機器の準備と管理	4月17日(金)	13:30~16:30	講義・演習
9	褥瘡対策	4月20日(月)	13:30~15:00	講義
10	食事援助技術	4月21日(火)	13:30~15:00	講義・演習
11	身体拘束・尊厳を守るケア	4月24日(金)	13:30~15:00	講義・演習
12	呼吸管理研修(基礎編)	6月12日(金)	13:30~17:15	講義・演習
13	救急蘇生法	7月15日(水)	13:30~17:15	講義・演習

医療機器共同利用(骨密度測定検査)のご案内

近年、骨粗鬆症による高齢者の骨折が問題となる中、当院におきましても地域医療支援病院としての役割から、その予防と早期治療の診断に欠かせない骨密度測定検査の利用促進強化を図っているところであります。その一環として令和7年9月よりDEXA法(注)を用いた当院骨密度測定装置を、提携する地域医療機関の皆さまと共同で利用する取り組みを開始しました。

医療機器共同利用とは、当院が検査のみを行い、会計やレセプト請求はご利用元の各医療機関で行っていただく新たなシステムです。通常行っていた紹介手続きや当院の医師による診察が不要なため、来院される患者さんには、少ない待ち時間で検査のみを行い、結果もお渡しした上でご帰宅いただける、非常に利便性の高い取り組みとなっております。

ただし、ご利用いただくにあたっては、事前に当院との協定の締結が必要となりますので、地域医療連携室(TEL:076-422-1114)までご連絡ください。その他ご不明な点につきましても、お気軽にお問い合わせください。

(注)2つの異なるエネルギーのX線を用いて、骨と軟組織(脂肪、筋肉等)を分離し、腰椎と大腿骨の測定を行うことで、より正確なデータ収集が可能となる。



医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

4月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児島	9日	麻酔科	松浦	16日
皮膚科	大石	13日、17日	呼吸器・血管外科	土岐	16日
	町井	30日		堀井	22日
外科	羽田	8日	整形外科・関節再建外科	岩井	7日
眼科	山田芳	10日		岡本	10日
歯科口腔外科	朽名	10日PM、17日	※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168		

編集後記

我が家では、保育所、小学校、中学校の卒業が重なるといううれしくもあり大変な年となりました。子どもたちの幼い頃の写真を見ると成長を実感するとともに、振り返ると、生活に精一杯で長かったようであったという間の日々でした。

来年度からは、それぞれ新しい環境での学びが始まり、今後の成長が楽しみです。子どもに負けないよう私自身も日々学び成長し、地域連携に尽力してまいります。来年度もよろしくお願い申し上げます。

入院支援センター 池田 満智子



作:病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室:メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

